

## 当院にて統合失調症でご加療中の方へ

当院では精神科専門研修における抗精神病薬処方適正化の教育方法に関する研究を実施しております。この研究は統合失調症に対する薬物療法について、精神科専門医指導医を含めた精神科医が話し合い、より適正な薬物療法を行うための方法を検討するものです。

### 【研究課題】

精神科専門研修における抗精神病薬処方適正化の教育方法（10711）

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院

研究責任者 市橋香代・精神神経科・助教

担当業務 教育指導、データ収集・匿名化・データ解析

### 【研究期間】

2014年12月25日より5年間

### 【対象となる方】

2015年1月1日～2015年1月31日の間に当院精神神経科で統合失調症として治療をされた患者さん。

### 【研究の意義】

統合失調症の薬物療法を適正に行うためにはどのような指導が有効であるかを検討し、今後の臨床活動に生かします。

### 【研究の目的】

統合失調症に対する薬物療法を適正に行うため、個々の患者さんでの抗精神病薬の処方に焦点を当て、症状改善や副作用の有無などについて話し合いをします。その結果として患者さんの処方内容や症状の変化がどうなったかを調査し、精神科専門研修で生かします。

### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている症状や処方内容、血液検査や心電図検査等実施の有無、入院治療の有無などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、

慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・カルテ番号等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において市橋香代（管理責任者）が、本人のみ使用可能な診療端末内のファイルサービスでパスワードを使用して厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2017年8月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、学会等で個人が特定出来ない形式で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、統合失調症研究会より第10回研究助成を受けて実施いたしました。東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

尚、あなたへの謝金はございません。

2017年5月

**【問い合わせ先】**

東京大学医学部附属病院 精神神経科 助教 市橋香代

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線33605） FAX：03-5800-6894